

2023年12月期 決算説明資料

株式会社レゾナック・ホールディングス

取締役 常務執行役員 CFO

染宮 秀樹

2024年2月14日

RESONAC

1. 2023年12月期 決算

- ・**前期比: 減益** **前回公表値(11/9)比: 損失縮小**
- ・前期比減益の大部分は、市況悪化影響を強く受けた半導体・電子材料セグメントの減益
- ・事業環境の悪化が深刻だったHDメディア事業について、黒字化に向けた構造改革を完遂
- ・2023年1Qを底に業績はボトムアウトしつつある

2. 2024年12月期 業績予想

- ・**当期比: 黒字転換**
- ・半導体・電子材料セグメントは、下期からの本格的な市況回復を背景に成長軌道へ回帰
- ・HDメディア事業は、コスト構造見直しの成果を刈り取り黒字化へ

目次

1. 2023年12月期 決算
2. 2024年12月期 業績予想

連結業績の概要 (前期比)

項目	2022年 ^{※1}	2023年	増減
売上高	13,926	12,889	△ 1,038
営業利益	617	△ 38	△ 655
営業外損益	△ 0	△ 110	△ 110
経常利益	617	△ 148	△ 765
特別損益	△ 108	△ 114	△ 6
税金等調整前当期純利益	509	△ 262	△ 771
当期純利益	397	△ 180	△ 577
親会社株主に帰属する当期純利益	324	△ 190	△ 514
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却額)	1,705	1,057	△ 648
対売上EBITDA _(%)	12.2%	8.2%	△ 4.0p
ROIC ^{※3}	3.3%	0.5%	△ 2.8p
1株当たり当期純利益	179円02銭	△104円65銭	△283円67銭
1株当たり配当金	65円	65円(予定)	-

(億円)

参考	継続事業ベース ^{※2}		
	2022年	2023年	増減
売上高	13,696	12,824	△ 872
営業利益	611	△ 41	△ 652
EBITDA	1,691	1,049	△ 642
対売上EBITDA _(%)	12.3%	8.2%	△ 4.2p

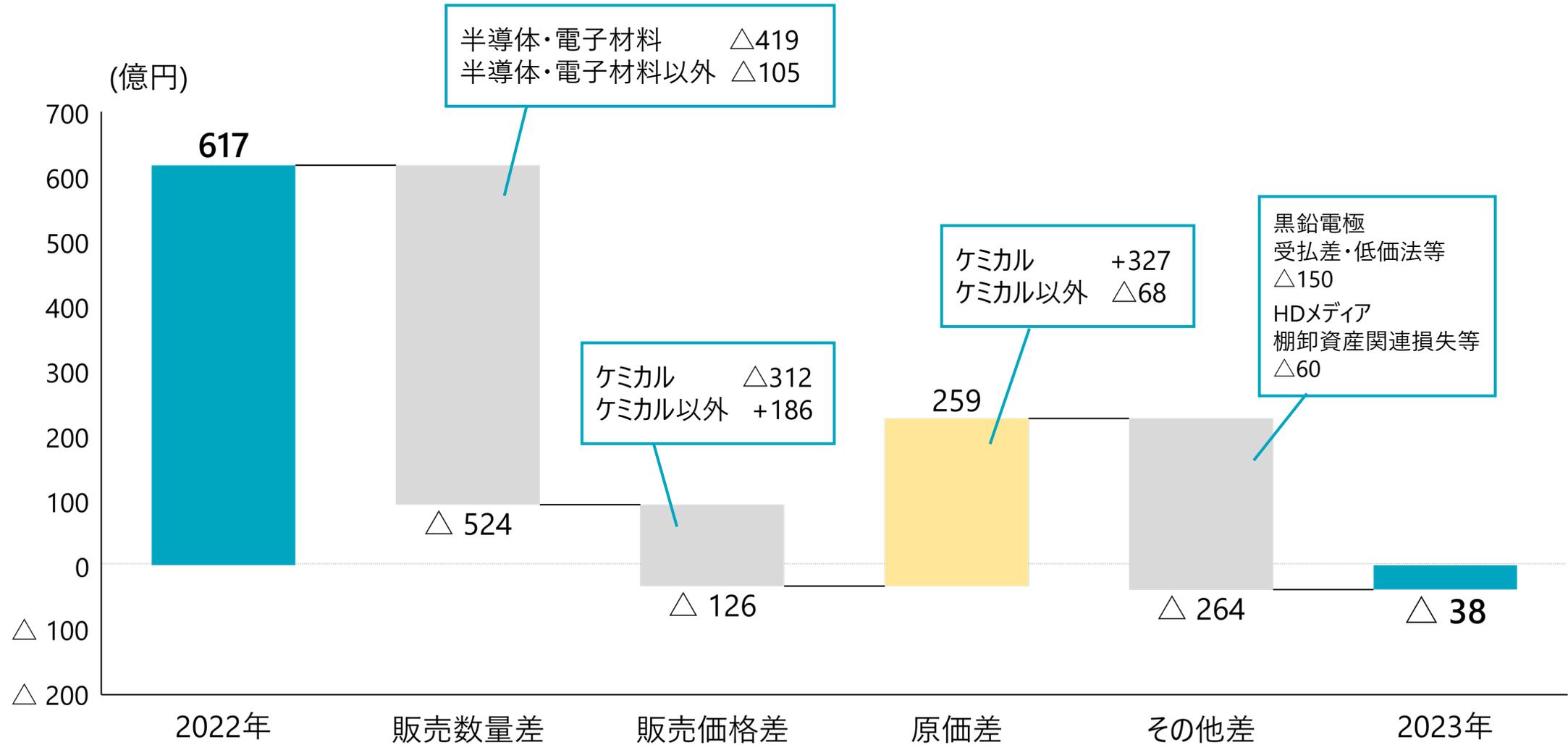
(億円)

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値
他頁の2022年値についても同じ

※2 事業譲渡したISOLITE GmbHおよび診断薬事業
を除いた参考値 (監査対象外)

※3 (営業利益+持分法投資損益-法人税)÷(有利子
負債+純資産)

連結営業利益差異内訳 (前期比)



セグメント別売上高・営業利益・EBITDA (前期比)

(億円)

セグメント		2022年	2023年	増減	増減率
半導体・電子材料	売上高	4,272	3,381	△ 890	△ 21%
	営業利益	455	△ 94	△ 550	-
	EBITDA	961	439	△ 522	△ 54%
モビリティ	売上高	1,806	1,790	△ 17	△ 1%
	営業利益	△ 7	19	27	-
	EBITDA	185	203	18	10%
イノベーション材料	売上高	1,411	1,301	△ 110	△ 8%
	営業利益	101	113	12	12%
	EBITDA	187	199	11	6%
ケミカル	売上高	5,278	5,163	△ 115	△ 2%
	営業利益	249	77	△ 172	△ 69%
	EBITDA	422	251	△ 171	△ 41%
その他・調整額	売上高	1,159	1,254	94	8%
	営業利益	△ 181	△ 153	28	-
	EBITDA	△ 50	△ 34	16	-
合計	売上高	13,926	12,889	△ 1,038	△ 7%
	営業利益	617	△ 38	△ 655	-
	EBITDA	1,705	1,057	△ 648	△ 38%

セグメント別サマリー (半導体・電子材料) (前期比)

(億円)

項目	2022年	2023年	増減	増減率	業績概況
売上高	4,272	3,381	△ 890	△ 21%	前期末からの需要低迷が継続し減収。 HDメディアの棚卸資産において、低価法による簿価切り下げや廃棄損を計上したこともあり、営業赤字 ・半導体前工程材料: 当期初から半導体前工程の生産調整の影響が生じ、電子材料用高純度ガス、CMPスラリーともに減収 ・半導体後工程材料: 前期末から低迷した需要は、足元では持ち直しの動きが見られるものの、減収 ・デバイスソリューション: HDメディアはデータセンター向け需要低迷が継続し、大幅減収。SiCエピタキシャルウェハは出荷数量増で増収
半導体前工程材料	1,002	746	△ 256	△ 26%	
半導体後工程材料	1,883	1,625	△ 258	△ 14%	
デバイスソリューション	993	662	△ 331	△ 33%	
その他	393	349	△ 45	△ 11%	
営業利益	455	△ 94	△ 550	-	
EBITDA	961	439	△ 522	△ 54%	
対売上EBITDA _(%)	22.5%	13.0%	△ 9.5p	-	

主要製品

- 半導体前工程材料: 電子材料用高純度ガス、半導体回路平坦化用研磨材料(CMPスラリー)
- 半導体後工程材料: エポキシ封止材、ダイボンディング材料、銅張積層板、感光性フィルム、感光性ソルダーレジスト
- デバイスソリューション: HDメディア、SiCエピタキシャルウェハ、化合物半導体(LED)

セグメント別サマリー (モビリティ) (前期比)

(億円)

項目	2022年※	2023年	増減	増減率	業績概況
売上高	1,806	1,790	△ 17	△ 1%	<p>売上高: 前期のISOLITE GmbH事業譲渡に加え、民生需要の低迷の影響を受けたものの、自動車生産の回復や新規車種向け製品立上により前期から横ばい</p> <p>営業利益: 低収益製品対策効果もあり増益</p> <p>・自動車部品: 新規車種向け製品の立上、低収益製品製品対策効果もあり増収</p> <p>・リチウムイオン電池材料: 正負極用導電助剤、カーボン負極材は増収となったものの、民生需要の低迷により、アルミラミネートフィルム(SPALF)が減収</p>
自動車部品	1,464	1,498	34	2%	
リチウムイオン電池材料	307	299	△ 8	△ 3%	
その他	35	△ 7	△ 42	-	
営業利益	△ 7	19	27	-	
EBITDA	185	203	18	10%	
対売上EBITDA _(%)	10.3%	11.3%	1.1p	-	

主要製品

- 自動車部品: 樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品
- リチウムイオン電池材料: アルミラミネートフィルム(SPALF)、正負極用導電助剤、カーボン負極材

※2022年に事業譲渡したISOLITE GmbH含む

(億円)

項目	2022年	2023年	増減	増減率	業績概況
売上高	1,411	1,301	△ 110	△ 8%	数量は減少したものの、原材料価格高騰に伴う値上げにより製品販売価格は上昇し、減収増益
営業利益	101	113	12	12%	
EBITDA	187	199	11	6%	
対売上EBITDA _(%)	13.3%	15.3%	2.0p	-	

主要製品

- 樹脂材料、機能性化学品、コーティング材料、セラミックス、アルミ機能部材

セグメント別サマリー (ケミカル) (前期比)

(億円)

項目	2022年	2023年	増減	増減率	業績概況
売上高	5,278	5,163	△ 115	△ 2%	<p>・石油化学: 4年に一度の定修停止があった前年比で数量増も、ナフサ価格の下落により売価下落し減収。営業利益はスプレッドの改善等で増益</p> <p>・化学品: 原燃料価格上昇に対応した価格転嫁が進むも一部数量減で売上高横ばい。営業利益は利幅の回復により増益</p> <p>・黒鉛電極: 前年比数量減・単価下落で減収。受払差のマイナス影響に加え棚卸資産の評価損で大幅減益</p>
石油化学	3,247	3,163	△ 85	△ 3%	
化学品	871	869	△ 2	△ 0%	
黒鉛電極	1,157	1,129	△ 28	△ 2%	
その他	3	3	0	14%	
営業利益	249	77	△ 172	△ 69%	
EBITDA	422	251	△ 171	△ 41%	
対売上EBITDA _(%)	8.0%	4.9%	△ 3.1p	-	

主要製品

- 石油化学: オレフィン、有機化学品
- 化学品: 基礎化学品、産業ガス

2023年セグメント別売上高・営業利益 (実績)

(億円)

セグメント	項目	2023年実績					前回予想※	
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	通期予想	増減
半導体・電子材料	売上高	694	840	883	964	3,381	3,330	51
	営業利益	△ 104	△ 27	6	30	△ 94	△ 140	46
モビリティ	売上高	425	431	460	474	1,790	1,820	△ 30
	営業利益	△ 5	△ 3	8	19	19	10	9
イノベーション材料	売上高	300	319	336	346	1,301	1,300	1
	営業利益	20	23	40	30	113	100	13
ケミカル	売上高	1,271	1,278	1,298	1,316	5,163	5,200	△ 37
	営業利益	39	9	54	△ 25	77	80	△ 3
その他・調整額	売上高	299	304	285	366	1,254	1,250	4
	営業利益	△ 43	△ 41	△ 20	△ 49	△ 153	△ 170	17
合計	売上高	2,989	3,172	3,262	3,466	12,889	12,900	△ 11
	営業利益	△ 92	△ 40	89	5	△ 38	△ 120	82

※ 2023年11月9日公表

営業外損益内訳

(億円)

項目	2022年	2023年	増減
金融収支	△ 139	△ 111	28
持分法投資損益	36	36	△ 0
固定資産賃貸料	15	16	1
為替差益	106	20	△ 87
その他	△ 19	△ 70	△ 52
営業外損益 計	△ 0	△ 110	△ 110

特別損益内訳

(億円)

項目	2022年	2023年	増減
固定資産売却益	136	37	△ 99
事業譲渡益	3	246	244
固定資産除売却損	△ 62	△ 59	3
減損損失	△ 101	△ 262	△ 161
特別退職金	△ 4	△ 66	△ 61
事業譲渡損	△ 35	-	35
独占禁止法関連損失	△ 56	-	56
その他	11	△ 11	△ 23
特別損益 計	△ 108	△ 114	△ 6

連結貸借対照表

(億円)

資産	2022年 12月末※1	2023年 12月末	増減	負債・純資産	2022年 12月末※1	2023年 12月末	増減
現預金	1,865	1,903	38	営業債務	1,941	1,774	△ 167
営業債権	2,661	2,661	0	有利子負債	10,626	10,165	△ 461
たな卸資産	2,505	2,252	△ 253	その他負債	2,623	2,594	△ 30
その他流動資産	840	703	△ 137	負債計	15,190	14,533	△ 657
流動資産計	7,870	7,519	△ 351	株主資本計	4,446	4,160	△ 286
有形固定資産計	6,781	6,786	5	(内、利益剰余金)	1,659	1,373	△ 286
無形固定資産計	4,937	4,706	△ 231	その他の包括利益累計額計	1,057	1,369	312
(内、のれん)	2,954	2,852	△ 102	(内、その他有証評価差額金)	4	2	△ 2
(内、その他無形固定資産)	1,983	1,854	△ 129	(内、為替換算調整勘定)	720	992	272
投資その他の資産計	1,350	1,309	△ 41	非支配株主持分	244	258	14
固定資産計	13,067	12,800	△ 267	純資産計	5,747	5,787	39
資産合計	20,937	20,320	△ 618	負債・純資産合計	20,937	20,320	△ 618

主要指標

ネットD/Eレシオ (倍)※2	1.07	1.00	△ 0.08	自己資本比率 (%)※3	26.3	27.2	0.9p
-----------------	------	------	--------	--------------	------	------	------

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

※2 {(借入金+コマーシャルペーパー+社債+リース債務) - 現金及び預金 - 劣後ローン×50%} ÷ (自己資本+劣後ローン×50%)

劣後ローン(借入金に含まれる)の50%の資本性は、2020年4月27日付の(株)日本格付研究所の格付に基づく

※3 {(純資産計 - 非支配株主持分)/負債・純資産合計} x 100

課題のあった事業の収益体質を改善

HDメディア 事業

▶ 生産規模・人員規模の最適化

- ・台湾生産拠点の閉鎖完了、全拠点合算で生産能力の年初比1/3削減完了
- ・2024年度において、固定費約90億円の改善を見込む

モビリティ 事業

▶ 低収益製品の“48品目”緊急対策

- ・値上げに関して、顧客交渉は8割妥結
- ・2023年度は合計34億円の採算改善を達成し、セグメント損益も黒字化
- ・値上げ困難な製品に関しては、撤退ないしは人員削減を含むコストダウンで対策

全社横断

赤字製品 の撲滅

▶ 国内取引を中心にリストアップした、不採算の「製品×顧客 組み合わせ」に対する収益改善

- ・リストアップ品目※の75%について、2023年12月末までに施策完了

※本集計上、別掲のモビリティ・HDメディア事業、市況影響の大きい石油化学事業は除く

目次

1. 2023年12月期 決算
2. 2024年12月期 業績予想

2024年連結業績予想

項目	2023年 通期実績	2024年 通期予想※1	増減	2024年予想※1	
				上期予想	下期予想
売上高	12,889	13,300	411	6,400	6,900
営業利益	△ 38	280	318	△ 50	330
営業外損益	△ 110	△ 150	△ 40	△ 80	△ 70
経常利益	△ 148	130	278	△ 130	260
特別損益	△ 114	△ 40	74	10	△ 50
税金等調整前当期純利益	△ 262	90	352	△ 120	210
当期純利益	△ 180	110	290	△ 150	260
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 190	100	290	△ 150	250
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却額)	1,057	1,382	324	491	891
対売上EBITDA(%)	8.2%	10.4%	2.2p	7.7%	12.9%
ROIC※2	0.5%	1.9%	1.4p		
ネットD/Eレシオ(倍)※3	1.00	1.03	0.03		
1株当たり当期純利益	△104円65銭	55円21銭	159円86銭		
1株当たり配当金	65円(予定)	65円	-		

(億円)

※1 2024年2月14日公表
 ※2 (営業利益+持分法投資損益-法人税)÷
 (有利子負債+純資産)
 ※3 {(借入金+コマーシャルペーパー+社債+リース債務) -
 現金及び預金 - 劣後ローン×50%}÷
 (自己資本+劣後ローン×50%)
 劣後ローン(借入金に含まれる)の50%の資本性は、2020
 年4月27日付の㈱日本格付研究所の格付に基づく

アルミ機能部材事業は、2024年よりモビリティセグメントに

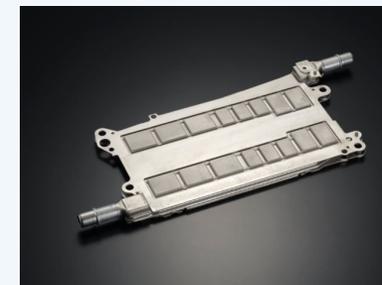


組織・セグメント変更の背景

- ・アルミ機能部材事業の自動車市場への更なる注力
- ・販売面のシナジーに加え、事業戦略上の鍵となる「軽量化」「熱ソリューション」分野でモビリティ各部門との共創加速



アルミ押出・鋳造・鍛造品



冷却器

2024年セグメント別売上高・営業利益・対売上EBITDA (予想)

(億円)

セグメント	項目	2024年予想 [※]			2023年実績	
		上期予想	下期予想	通期予想	通期実績	増減
半導体・電子材料	売上高	1,800	2,100	3,900	3,381	519
	営業利益	10	180	190	△ 94	284
	対売上EBITDA _(%)	15.8%	22.3%	19.3%	13.0%	6.3p
モビリティ	売上高	1,050	1,050	2,100	1,790	310
	営業利益	10	60	70	19	51
	対売上EBITDA _(%)	9.9%	14.7%	12.3%	11.3%	1.0p
イノベーション材料	売上高	450	450	900	1,301	△ 401
	営業利益	40	40	80	113	△ 33
	対売上EBITDA _(%)	16.2%	16.3%	16.2%	15.3%	1.0p
ケミカル	売上高	2,500	2,750	5,250	5,163	87
	営業利益	△ 30	130	100	77	23
	対売上EBITDA _(%)	2.3%	8.1%	5.3%	4.9%	0.5p
その他・調整額	売上高	600	550	1,150	1,254	△ 104
	営業利益	△ 80	△ 80	△ 160	△ 153	△ 7
	対売上EBITDA _(%)	△4.8%	△4.8%	△4.8%	△2.7%	△ 2.0p
合計	売上高	6,400	6,900	13,300	12,889	411
	営業利益	△ 50	330	280	△ 38	318
	対売上EBITDA _(%)	7.7%	12.9%	10.4%	8.2%	2.2p

※ 2024年2月14日公表

Appendix

連結対象会社 (前期末対比)

連結子会社：102社 (△6社)

+ 4社: AMI完全子会社化関連

△ 3社: 診断薬事業売却関連

△ 7社: 海外拠点統合関連 他

持分法適用会社：12社 (△1社)

主要諸元

	2022年		2023年		(期中平均)
	10-12月	通期	10-12月	通期	2024年 通期予想
為替レート					
(円/US\$)	141.6	131.4	147.9	140.6	135.0
	2022年12月 期末レート:132.7		2023年12月 期末レート:141.8		
(円/€)	144.3	138.0	159.1	152.0	150.0
国産ナフサ (円/KL)	72,500	76,150	72,800	67,600	70,400

(億円)

	2022年※ 通期実績(A)	2023年 通期実績(B)	2024年 通期予想(C)	増減 (B)-(A)	増減 (C)-(B)
営業キャッシュ・フロー	994	1,187	870	193	△ 317
投資キャッシュ・フロー	△ 547	△ 619	△ 1,010	△ 72	△ 391
フリー・キャッシュ・フロー (営業CF + 投資CF)	447	568	△ 140	121	△ 708
財務キャッシュ・フロー	△ 1,033	△ 629	60	404	689
その他	100	99		△ 1	
現金及び現金同等物 増減額	△ 485	39		524	

※ 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

(億円)

セグメント	2022年※ 通期実績(A)	2023年 通期実績(B)	2024年 通期予想(C)	増減 (B)-(A)	増減 (C)-(B)
半導体・電子材料	443	388	755	△ 55	366
モビリティ	89	116	170	27	54
イノベーション材料	76	61	60	△ 14	△ 2
ケミカル	195	232	213	37	△ 19
その他	268	169	137	△ 99	△ 32
合計	1,071	966	1,334	△ 104	368

※ 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

(億円)

	2022年※ 通期実績(A)	2023年 通期実績(B)	2024年 通期予想(C)	増減 (B)-(A)	増減 (C)-(B)
設備投資	1,071	966	1,334	△ 104	368
減価償却費 (PPA、のれん償却額除く)	761	766	767	5	2
PPA償却費	159	159	160	1	0
のれん償却額	168	170	174	1	5
研究開発費	471	427	471	△ 44	44
金融収支	△ 139	△ 111	△ 147	28	△ 36
優先株配当	△ 54	-	-	54	-

※ 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

セグメント		2022年 通期実績(A)	2023年 通期実績(B)	2024年 通期予想(C)	増減 (B)-(A)	増減 (C)-(B)
半導体・電子材料	減価償却費(PPA除く)	249	276	306	28	29
	PPA償却費	124	124	124	△ 0	-
	のれん償却額	133	133	132	-	△ 0
モビリティ	減価償却費(PPA除く)	150	141	147	△ 9	5
	PPA償却費	21	21	21	-	-
	のれん償却額	21	21	21	-	0
イノベーション材料	減価償却費(PPA除く)	69	68	49	△ 1	△ 20
	PPA償却費	9	9	9	0	△ 0
	のれん償却額	8	9	8	0	△ 0
ケミカル	減価償却費(PPA除く)	170	169	170	△ 1	0
	PPA償却費	3	3	4	1	0
	のれん償却額	0	1	6	1	5
その他	減価償却費(PPA除く)	116	106	97	△ 9	△ 10
	PPA償却費	2	2	2	-	-
	のれん償却額	6	6	6	0	△ 0
継続事業ベース※ 合計	減価償却費(PPA除く)	754	762	767	8	6
	PPA償却費	159	159	160	1	0
	のれん償却額	168	170	174	1	5
非継続事業	減価償却費(PPA除く)	7	4	-	△ 3	△ 4
	PPA償却費	-	-	-	-	-
	のれん償却額	-	-	-	-	-
合計	減価償却費(PPA除く)	761	766	767	5	2
	PPA償却費	159	159	160	1	0
	のれん償却額	168	170	174	1	5

(億円)

※ 事業譲渡したISOLITE GmbHおよび診断薬事業を除いた参考値(監査対象外)

(億円)

項目	2023年 7-9月	2023年 10-12月	増減
売上高	3,262	3,466	204
営業利益	89	5	△ 83
営業外損益	△ 46	△ 82	△ 35
経常利益	42	△ 76	△ 118
特別損益	185	△ 262	△ 447
税金等調整前四半期純利益	227	△ 339	△ 565
四半期純利益	135	△ 129	△ 264
親会社株主に帰属する四半期純利益	134	△ 126	△ 260
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却費)	364	282	△ 82
対売上EBITDA _(%)	11.2%	8.2%	△ 3.0p

(億円)

セグメント		2022年※1				
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	通期実績
半導体・電子材料	売上高	1,073	1,130	1,120	948	4,272
	営業利益	132	141	132	50	455
モビリティ	売上高	412	389	450	457	1,708
	営業利益	3	△ 12	1	7	△ 1
イノベーション材料	売上高	343	357	356	355	1,411
	営業利益	29	26	21	25	101
ケミカル	売上高	951	1,295	1,525	1,508	5,278
	営業利益	22	109	62	56	249
その他	売上高	237	243	266	281	1,027
	営業利益	△ 32	△ 42	△ 45	△ 75	△ 194
継続事業ベース※2 合計	売上高	3,016	3,414	3,715	3,551	13,696
	営業利益	154	222	171	63	611
非継続事業	売上高	64	67	66	34	230
	営業利益	4	△ 0	△ 3	7	7
合計	売上高	3,080	3,480	3,781	3,585	13,926
	営業利益	158	222	168	70	617

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

※2 事業譲渡したISOLITE GmbHおよび診断薬事業を除いた参考値(監査対象外)

セグメント	トピックス
半導体・ 電子材料	シリコンバレーにおける半導体後工程R&D拠点新設を発表
	先端半導体の米コンソーシアム「TIE」に戦略パートナーとして参画 日本メーカーとして、材料メーカーとして初
ケミカル	川崎重工と「川崎地区での水素発電事業開発にかかる協業の覚書」を締結
	船舶へのアンモニア燃料供給実現に向け、日本郵船・JERAと共同契約を締結
その他	東京都港区の旧本社土地・建物の売却を発表
	アステラス製薬会長 安川氏を社外取締役候補者に選任

ニュースリリース

詳細は各ニュースリリースをご参照ください。

<https://www.resonac.com/jp/news>

注意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。

なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、国際情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極等製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。